

平成20年度 地方の元気再生事業 事業実施調書

(1) 取組名	上州エステと上州食・体験“上州力”まるごと活用誘客・地方元気プロジェクト		
(2) 実施団体名	上州力まるごと活用協議会	(3) 対象地域	群馬県渋川市伊香保町、中之条町、草津町、みなかみ町
(4) 代表団体名		(5) 推薦団体名	

(6)実施した取組の内容	<b>取組①</b>	上州エステ素材開発事業、上州エステ導入人材育成・研修事業	
	実施主体	主担当：(株)シーエスラボ、(株)モナ・エステティックアカデミー	
	実施内容、実施結果	当初提案により予定していた計画	実際の取組内容及びその結果
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施内容：群馬県産の繭(シルク)、下仁田こんにやく、孺恋キャベツ、上州りんご、白樺樹液、熊笹、モンモリオナイト(群馬県特産土)を活用してのエステ商材開発と上州エステのサービスプログラムの開発。</li> <li>・実施時期：平成20年9月～平成21年1月</li> <li>・取組の目的：4温泉地増客の鍵を握るターゲットとなる女性層へのアピールコンテンツとなる地域版オリジナルエステを開発。上州産素材を用いたエステ素材開発により、上州地域の1次産業との連携を図り新たなサービスを創出する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施内容：群馬県産の繭(シルク)、下仁田こんにやく、孺恋キャベツ、上州りんご、白樺樹液、熊笹、モンモリオナイト(群馬県特産土)を活用してのエステ商材開発と上州エステのサービスプログラムの開発。</li> <li>・実施時期：平成20年9月～平成21年1月(原料特性検討、安全性検討、クリーム等試作開発、エステプログラム手順等検討、エステプログラム導入研修)</li> <li>・取組の結果：エステ素材開発に関しては繭(シルク)、下仁田こんにやく、孺恋キャベツ、上州りんご、白樺樹液、熊笹、の6品目は試作品が完成したがモンモリオナイトは試作段階で重金属成分が検出され人体の塗布に適さないことが判明した。エステプログラムについては、試作品として完成したものを用いて、各地域において研修を実施し、人材育成ができた。</li> </ul>
	<b>取組②</b>	地産地消費連携事業	
	実施主体	上州力まるごと活用協議会	
実施内容、実施結果	当初提案により予定していた計画	実際の取組内容及びその結果	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施内容：新たな上州食メニューの開発と地産地消費食材供給の仕組みづくりを検討</li> <li>・実施時期：平成20年9月～平成21年2月</li> <li>・取組の目的：転泊の満足度を向上するため温泉地間の連携により、食材とメニューが重ならないよう配慮しながら、地産地消費食材を用いてメニュー開発を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施内容：新たな上州食メニューを開発と地産地消費食材供給仕組みづくりを検討</li> <li>・実施時期：平成20年9月～平成21年2月(地元食材検討、地元食材によるメニュー開発、試食検討会、一般向け試食会による市場性検証)</li> <li>・取組の結果：新たな上州食メニュー案を30種あまり開発した。そのメニューを検討する中で、各地域間での料理長ネットワークの拡大やそれぞれの地域での協議会メンバー以外の旅館、ホテル等の協力や理解を得られ、広域的な連携を図ることができた。今後、転泊に向けた仕組みづくりが課題である。</li> </ul>	
<b>取組③</b>	温泉地間転泊相乗効果検証事業、上州体験観光プログラム開発事業		
実施主体	主担当：(社)群馬県温泉協会		
実施内容、実施結果	当初提案により予定していた計画	実際の取組内容及びその結果	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施内容：異なる泉質の温泉を連泊による相乗効果を実証的に検証。連泊による空き時間を有効活用するために体験観光プログラムを開発</li> <li>・実施時期：平成20年9月～平成21年2月</li> <li>・取組の目的：異なる泉質の温泉を連泊による相乗効果を医学的な面、健康的な面からそれぞれ実証的に検証する。また、体験観光の開発では、半日もかからず移動できてしまう県内温泉地間の移動の余剰時間を有効に活用し上州の文化や自然に触れてもらえるよう体験メニューを開発・検討する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施内容：異なる泉質の温泉を連泊による相乗効果を実証的に検証や連泊による空き時間のために体験観光プログラムを開発</li> <li>・実施時期：平成20年9月～平成21年2月(源泉調査、モニターツアー参加者を対象とした実証研究、つみ草体験開発のための研修実施)</li> <li>・取組の結果：異なる泉質の温泉を連泊による相乗効果を医学的な面、健康的な面からそれぞれ実証的に検証した。また、連泊による移動の余剰時間を有効活用するために体験プログラムを7つ開発した。特に国の重要無形民俗文化財である白久保の「お茶講」などあまり知られていないものを掘り起こすことができ、体験プログラムとして活用できるよう体制を整えた。</li> </ul>	

(7)実施体制	平成20年度の取組実施における体制・役割分担		取組の実施を踏まえた反省点
	<p>上州力まるごと活用協議会 協議会メンバーにおいて、それぞれ役割分担を明確し、スムーズな運営ができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ホテル松本楼(伊香保温泉) 柏屋旅館(四万) 草津ハイランドホテル(草津) 辰巳館(みなかみ 月夜野/上牧温泉) 財団法人群馬県観光国際協会 株式会社エイエイピー(全体運営と取組①②③)</li> <li>・株式会社シーエスラボ、株式会社モナ・エステティックアカデミー(取組①)</li> </ul> <p>上州エステ素材の開発事業、上州エステ導入の人材育成・研修事業を担当</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中之条町、六合村(取組③)上州体験観光プログラム開発事業を担当</li> <li>・社団法人群馬県温泉協会(取組③)温泉地間転泊相乗効果検証事業を担当</li> </ul> <p>&lt;協力団体&gt;群馬県吾妻行政事務所、群馬県吾妻農業事務所、群馬県利根沼田行政事務所、群馬県利根沼田農業事務所、みなかみ観光まちづくり協会、伊香保温泉観光協会</p>		<p>行政等の協力により、広域的な連携の基礎が構築されたが、各地域での観光協会・旅館組合・交通事業者等に等しく参画を促し、新たな地域全体の取り組み組織へ拡大を目指していく。</p>
(8)取組により得られた成果	○成果1→	4温泉地観光来訪客数総計を1万人増加させる。概算で4温泉地計現況500万(伊香保110万人、四万40万人、草津300万人、みなかみ50万人)であるが、この合計数値を501万人に引き上げる。	
		H19 500万人	H20(当初予定していた目標) 501万人
		H20(実際に得られた成果)	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・数値目標については、当該事業の効果としての実数計測はこれからであるが不況のあおりを受け、結果がでにくい状況であると思われる。</li> <li>・当該事業の推進により、各地域間でのネットワーク化、各地域での連携により、行政を巻き込んだ広域的な連携の基礎構築ができた。</li> <li>・温泉地間移動連泊(=転泊)という群馬にとって新しい旅行商品(旅行商品名『てんぱくテン子の旅』)を、暫定版ではあるが、誕生させることができた。このことにより、地元報道(群馬テレビ・上毛新聞等)に上州力まるごと活用協議会の取り組みが県内観光地の活性化策の事例として大きく報道され、さらに県内枠を超えてNHK関東ローカルネットワーク『いと6けん』にも特集で放映されることが決まっており、今後反響を呼ぶことが期待される。</li> <li>・体験観光については、国の重要無形民俗文化財である白久保の「お茶講」を体験プログラムとして活用できるよう体制を整えた。</li> </ul>	
	○成果2→		
		H19	H20(当初予定していた目標)
	H20(実際に得られた成果)		

<p>(9)今年度の取組成果や活動を踏まえた反省点、改善点</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・20年度の取組みにおいて、「食」「エステ」についてはベーシックな開発段階を終了。21年度には実際の旅行商品に有効に組み込めるよう、価格、品質、満足度を更に検証する。</li> <li>・20年度に暫定版として開発した転泊旅行商品をさらに磨きをかけ、季節ごとに上州の魅力を反映できるような季節版転泊旅行商品の造成を目指す。</li> <li>・体験プログラムを実施するにあたり、地域の体験プログラムの担い手は不足しており、専門人材の育成が必要と考えられる。また、協議会メンバー以外での地元のボランティア団体、観光協会、行政等の幅広い関係者と連携して取り組む必要がある。</li> <li>・取組の目標でもある来訪客増のためのマーケティングを徹底〔世代・ターゲット別の市場調査：対象ターゲット別グループインタビュー調査等〕を行い、展開する旅行商品の精度を高める。</li> <li>・広域的な連携を図るためにも、温泉地間の2次交通の問題が課題となり、現状のままでは、大きな人数の増客はでは難しいと思われ、そのため、ビジネスモデルを構築するためにも官民の協働による検討や可能性等も実証したい。</li> </ul>	
<p>(10)平成21年度以降の活動の見込み</p>	<p>当初提案に予定していた平成21年度以降の展開</p> <p>1. インバウンド向ツール整備(海外エージェントへの売り込み活動実施) =21年度</p> <p>2. 4温泉地リレー セミナーシンポジウム「今こそ女性の生き方を見つめる。“女性力UP” ゆけむりシンポジウム」 =21年度</p> <p>3. “新しい上州食”試食イベントの4温泉地拡大開催 =21年度</p> <p>4. 当初提案になし</p> <p>5. 当初提案になし</p>	<p>今年度の取組状況を踏まえた平成21年度以降の活動の見込みと活用を希望する支援制度</p> <p>1. プロモーション(平成21年度) ・実施主体:上州力まるごと活用協議会  ・広告＝女性誌タイアップ広告等＝、ツール、Web、女性関連産業タイアップ等々  ・平成20年当初は21年度にインバウンド向けプロモーションの実施を目指していたが、昨今の円高状況により、インバウンドは結果が出にくいと想定され、21年度は国内向けプロモーションに特化して展開したい。インバウンドは22年度以降の将来課題としたい。〔活用を希望する制度:内閣府地方の元気再生事業による継続支援を希望 (想定金額1000万円)〕</p> <p>2. 着地型観光推進シンポジウム及び着地型観光人材育成(平成21年度)  ・実施主体:上州力まるごと活用協議会  ・予定では、女性対象旅行商品への地域の関心喚起を意図して女性をテーマとしたシンポジウムの21年度開催を計画したが、20年度の取り組みの結果を踏まえ、漫然とした女性テーマのシンポジウム開催でなく、より高度化した形(20年度取組みの高度化としての「食」「美容」「各種体験」についての旅行者参加型プログラム化)のシンポジウムの開催や体験プログラム等の人材育成も実施したい。  〔活用を希望する制度:内閣府地方の元気再生事業による継続支援を希望 (想定金額300万円)〕</p> <p>3. 地域全体での「食」「美容」「その他の体験」に関するプログラム開発とそのプログラムを盛り込んだ季節型商品開発(平成21年度) ・実施主体:上州力まるごと活用協議会  ・予定では、21年度「食」イベント充実・多回数開催を考えていたが、今年度の開発段階を踏まえて21年度は食イベントだけでなく「美容(上州エステに加え美容によい運動プログラム等)」及び「農業・自然・文化体験体験等」の、多数のプログラムを地域として集中的に実施する“地域(間)季節イベント”として推進したい。また、オリジナルプログラム多種開発、季節性を考慮した期間集中型実施(集中的広報発信)として、各観光施設・各産業関連者の連携により推進したい。  〔活用を希望する制度:内閣府地方の元気再生事業による継続支援を希望 (想定金額400万円)〕</p> <p>4. 実客増のためのマーケティングの徹底(平成21年度)  実施主体:エイエイピー 財団法人群馬県観光国際協会  ・世代・ターゲット別の市場調査、対象ターゲット別グループインタビュー調査を実施・百貨店女性商品バイヤーなどの異業種招聘によるセミナー実施・異業種ターゲット共有者及び女性媒体向けモニターツアー  ・20年度取り組みにより、よりターゲットにフィットした旅行商品の構築が求められ、そのため女性ニーズの把握を徹底的に行う取り組みを実施したい。  〔活用を希望する制度:内閣府地方の元気再生事業による継続支援を希望 (想定金額300万円)〕</p> <p>5. 温泉地間2次交通ビジネスモデル検討のための実証実験(平成21年度以降)  ・実施主体:交通会社(群馬バス・関越交通)  ・現状充分でない温泉地間の2次交通の強化は転泊旅行商品の充実化のため必要となり、関係各機関との意見交換など調整を図り、検討したい。  〔活用を希望する制度:内閣府地方の元気再生事業による継続支援を希望 (想定金額800万円)〕</p>

# 上州力まるごと活用誘客・地方元気プロジェクト

(群馬県渋川市伊香保町、中之条町、草津町、みなかみ町)

—上州力まるごと活用協議会—

## ◆主な実施取組の内容◆

取組①: 上州エステ素材開発事業／上州エステ導入 人材育成・研修事業

実施主体: 担当: (株)シーエスラボ、(株)モナ・エステティックアカデミー

実施内容・結果: 群馬県産の繭(シルク)・下仁田こんにゃく・孺恋キャベツ・上州りんご・白樺樹液・熊笹等の上州素材を活かしたクリーム等のエステ素材開発を実施し、試作品として6品目が完成することができた。また「上州エステ」のサービスプログラム開発は、試作品として完成したものを使用し、各地域において研修を実施し、人材育成ができた。



エステ試作品



エステサービス

取組②: 地産地消食連携事業

実施主体: 上州力まるごと活用協議会

実施内容・結果: 新たな上州食メニュー案を30種あまり開発した。そのメニューを検討する中で、各地域間での料理長ネットワークの拡大やそれぞれの地域での協議会メンバー以外の旅館、ホテル等の協力や理解を得られ、広域的な連携を図ることができた。



料理長による検討会



上州食検討会



上州食メニュー

取組③: 温泉地間転泊相乗効果検証事業／上州体験観光プログラム開発事業

実施主体: 担当: (社)群馬県温泉協会、上州力まるごと活用協議会

実施内容・結果: 異なる泉質の温泉を連泊による相乗効果を医学的な面、健康的な面からそれぞれ実証的に検証した。また、連泊による移動の余剰時間を有効活用するために体験プログラムを7つ開発した。特に、国の重要無形民俗文化財である白久保の「お茶講」などあまり知られていないものを掘り起こすことができ、体験プログラムとして活用できるよう体制を整えた。



お茶講の様子



## ◆取組実施による成果・今後の展開◆

**取組実施による成果:** 当該事業の推進により、各地域間でのネットワーク化、各地域での連携により、行政を巻き込んだ広域的な連携の基礎構築ができたほか、国の重要無形民俗文化財である白久保の「お茶講」を体験プログラムとして活用できるよう体制を整えた。

**今後の展開:** 今回による取組をさらに磨きをかけ、季節ごとに上州の魅力を反映できるような季節版転泊旅行商品の造成を目指す。さらに広域的な連携を図るために二次交通の問題が不可欠であり、ビジネスモデルを構築するためにも、官民の協働による検討や可能性も実証したい。